

MRI 検査を依頼される施設様へ

依頼される際の注意事項

検査室内は非常に強力な磁場が発生しており、体内装置の故障や生命に関わる危険性があります。

その為、以下の項目に該当する場合には**検査はうけられません。**

検査依頼前に必ず患者様にご確認ください。

- 心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器 人工内耳 圧可変式シャントバルブ

MRI 検査を受けられない可能性がある方

以下の項目に該当する場合、検査を受けられない可能性があります。

検査部位や目的に応じて対応させていただきますので、事前にお知らせください。

- 体内に金属を植え込んでいるまたは装着している
(脳動脈瘤クリップ、人工関節、人工心臓弁、着脱式インプラントなど)
- アートメイク (刺青) 妊娠中または妊娠の可能性がある 閉所恐怖症
- マグネットネイル・ジェルネイル

※ 体内金属の項目が該当する場合、まれに MRI 非対応のデバイスがございますので、事前に手術施行日、施行施設等詳細な情報を頂けると検査がスムーズに行えます。

着脱式インプラント (歯科で外す) やマグネットネイル・ジェルネイルは来院前に取り外してください。

非対応デバイスの場合状況に応じて、CT 検査に切り替えさせて頂く場合がございます。

検査時の服装

検査を安全に行う為、原則当クリニックが準備している検査着への着用をお願いしている為、着替えやすい服装での来院をお勧めしております。

また、化粧品の成分の中には鉄材を含むものもございます (青色系のアイシャドーなど) ので、当日はなるべくお化粧を控えて来院して頂くようご説明ください。

コンタクトレンズを装着されている患者さまは検査前に外させていただきます。可能であれば、眼鏡で来院いただくか、コンタクトケースを持参ください。

増毛パウダーは装置の故障に繋がりますので、当日は使用をお控えください。

食事・排尿の制限

MRCP (主に胆のうや膵臓の検査) では、検査 4 時間前から絶食とし、飲水は 3 時間前まで可能です。該当する場合は、患者様へご説明ください。

膀胱の検査では尿を溜めた状態で検査を行う為、来院前はトイレをお控え頂くようにご説明ください。

来院時間

検査予定時間の 20 分前までに来院して頂くようにご説明ください。



造影 MRI 検査を受けられる方へ

造影 MRI 検査について

造影 MRI 検査では、ガドリニウム造影剤を静脈から注入します。造影剤アレルギー歴がある場合や透析をされている方は造影剤を使用できないことがあります。

問診を確認し、造影剤使用に関する同意書にサインをいただいてから検査をさせていただきます。

造影 MRI 禁忌

- 腎臓の機能が低下している（eGFR30 未満）
- ガドリニウム造影剤過敏症
- 透析をしている

造影 MRI 要注意群

- 過去にガドリニウム造影剤に対し副作用の既往歴がある
(造影剤副作用カードをお持ちの方はご掲示ください)
- 症状の重い気管支喘息あり
- 鉄剤に対する過敏症あり
- 妊娠中または授乳中の方

造影 MRI 検査における副作用

造影剤を注入すると気分不良や発疹などの副作用が発現する場合があります。検査直後だけでなく数日後に副作用が発現する場合もありますので、造影後に異常を感じた場合はすぐにスタッフへお知らせください。

【軽い副作用：0.1%~2.4%】

吐き気、嘔吐、発疹、かゆみ、せき、頭痛、めまい、くしゃみ など

【重い副作用：0.001%~0.01%】

呼吸困難、血圧低下、意識障害、アナフィラキシー症状、

【重篤な副作用：0.00001%】

極めて稀に死亡



造影 MRI 検査後の注意事項

基本的に普段通りの生活をしていただいても構いませんが、以下のことに注意をお願いします。

- ・造影剤は 24 時間までにほぼ全量が尿中に排泄されます。検査後は多めに水分を摂ってください。
- ・授乳中の場合、2 日~3 日後までは微量ですが造影剤が授乳中に移行すると言われています。乳児に影響はないとの報告もありますが、念のため 2 日~3 日の授乳中断を考慮ください。